

体験学習・レクリエーション施設

No.	施設名	ページ
126	おかざき自然体験の森	165
127	こども自然遊びの森（わんパーク）	166
128	ホタル学校	167
129	くらがり溪谷レクリエーション施設	168

No.	126
小分類	体験学習・レクリエーション施設

1 施設概要

施設名称	おかざき自然体験の森
所在地	八ツ木町字池ノ上10
内容	自然体験の場、機会の創出、活動の場の提供を通じて環境学習を推進するとともに、自発的な地域活動の支援、市民交流の促進、地域資源及び人材の発掘の拠点となる施設
施設所管課	環境政策課
特記事項	

2 対象建物と状態

棟名称	完成年月	延床面積 (㎡)	構造	耐震		点検結果	
				診断	補強	屋根	外壁
管理棟	2000年8月	172	木造	-	-	A	A
循環式便所	2002年3月	12	木造	-	-	A	B
工作棟	2002年9月	131	木造	-	-	A	A
工作棟(増築部1)	2004年3月	22	木造	-	-	A	B
工作棟(増築部2)	2006年2月	9	木造	-	-	A	B
工作棟(増築部3)	2007年3月	8	木造	-	-	A	B
工作棟(増築部4)	2010年10月	6	木造	-	-	A	B
炭焼き小屋	2010年3月	9	木造	-	-	A	A
炭焼き小屋	2002年10月	2	木造	-	-	A	A

3 今後の取組方針

長期的な方向性	計画的な改修による安定したサービスの提供と効率化によるコストの低減を図る。 なお、施設の更新に当たっては、稼働状況や他施設との機能重複の状況等を踏まえた規模の適正化を検討する。
今後10年間の取組みの方向性	当面長寿命化等に係る工事の予定はないため、最小限の維持保全を実施する。

4 対策の内容と概算費用

実施内容	概算費用(千円)	備考

No.	127
小分類	体験学習・レクリエーション施設

1 施設概要

施設名称	こども自然遊びの森（わんパーク）
所在地	淡路町字堂面125
内容	自然体験の場、機会の創出、活動の場の提供を通じて環境学習を推進するとともに、自発的な地域活動の支援、市民交流の促進、地域資源及び人材の発掘の拠点となる施設
施設所管課	環境政策課
特記事項	

2 対象建物と状態

棟名称	完成年月	延床面積 (㎡)	構造	耐震		点検結果	
				診断	補強	屋根	外壁
わんぱくハウス	2010年1月	208	木造	-	-	A	A
公衆便所	2010年1月	8	木造	-	-	A	A

3 今後の取組方針

長期的な方向性	計画的な改修による安定したサービスの提供と効率化によるコストの低減を図る。 なお、施設の更新に当たっては、稼働状況や他施設との機能重複の状況等を踏まえた規模の適正化を検討する。
今後10年間の取組みの方向性	当面長寿命化等に係る工事の予定はないため、最小限の維持保全を実施する。

4 対策の内容と概算費用

実施内容	概算費用（千円）	備考

No.	128
小分類	体験学習・レクリエーション施設

1 施設概要

施設名称	ホテル学校
所在地	鳥川町字小デノ沢5-1
内容	自然体験の場、機会の創出、活動の場の提供を通じて環境学習を推進するとともに、自発的な地域活動の支援、市民交流の促進、地域資源及び人材の発掘の拠点となる施設
施設所管課	環境政策課
特記事項	

2 対象建物と状態

棟名称	完成年月	延床面積 (㎡)	構造	耐震		点検結果	
				診断	補強	屋根	外壁
ホテル学校	1982年12月	622	鉄筋コンクリート造	-	-	C	D

3 今後の取組方針

長期的な方向性	計画的な改修による安定したサービスの提供と効率化によるコストの低減を図る。 なお、施設の更新に当たっては、稼働状況や他施設との機能重複の状況等を踏まえた規模の適正化を検討する。
今後 10 年間の取組みの方向性	改修を要する部材が見られるため、施設の長寿命化に係る工事を実施し維持保全を図る。

4 対策の内容と概算費用

実施内容	概算費用 (千円)	備考
長寿命化	25,256	屋根・外壁・設備 (便所)

No.	129
小分類	体験学習・レクリエーション施設

1 施設概要

施設名称	くらがり溪谷レクリエーション施設
所在地	石原町字間苅69-1
内容	豊かな自然との触れ合いを通じて野外活動等を行う施設
施設所管課	観光推進課
特記事項	

2 対象建物と状態

棟名称	完成年月	延床面積 (㎡)	構造	耐震		点検結果	
				診断	補強	屋根	外壁
宿泊施設ささゆり	2002年3月	64	木造	-	-	B	B
宿泊施設まんさく	2002年3月	96	木造	-	-	B	B
花の木公衆便所	1997年2月	28	木造	-	-	A	A
駐車場公衆便所	1987年3月	49	木造	-	-	A	B
観光案内所	1988年3月	44	木造	-	-	A	A
宿泊施設山の家梅	1981年3月	33	木造	-	-	A	A
花の木避難小屋	1981年7月	40	木造	-	-	B	B
総合案内所	1965年3月	92	軽量鉄骨造	-	-	A	A
登山口公衆便所	1993年9月	19	木造	-	-	A	A
その他3棟(便所)	1973年3月等	47	コンクリートブロック造等	-	-	-	-

3 今後の取組方針

長期的な方向性	計画的な改修による安定したサービスの提供と効率化によるコストの低減を図る。 なお、施設の更新に当たっては、稼働状況や他施設との機能重複の状況等を踏まえた規模の適正化を検討する。
今後10年間の取組みの方向性	当面長寿命化等に係る工事の予定はないため、最小限の維持保全を実施する。

4 対策の内容と概算費用

実施内容	概算費用(千円)	備考